

基本事項				
自治体名	福岡県（北九州市合同）	設立時期	令和6年3月	
中核機関名	福岡県立聴覚特別支援学校	コーディネーター所属	聴覚特別支援学校 4 校	
		コーディネーター職種	教員	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	聴覚特別支援学校 4 校	
		キーパーソン職種	学校長	
事業の予算	県と国からの予算を活用	国庫補助金を利用	自治体予算を利用	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局	聴覚特別支援学校 4 校			

中核機関形態					
中核機関の分類	基中型	分散型			
中核機関の所属	大学病院			県立支援学校	聴覚特別支援学校 4 校
	その他（当事者団体）	その他（保護者）	その他（県障がい福祉課、教育庁）	その他（乳幼児支援センター）	その他（療育センター）
中核機能構成		名	うち常勤	0 名	
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	県職員	当事者、保護者

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能	周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	大学	高校	中学校	
		小学校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（NPO法人）	その他（聴覚障害者協会）	その他（特別支援学校PTA）	
当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	電話相談	メール相談
	電話相談	メール相談	その他（***）		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療関係	新スクフォロー	補聴器処方
		その他（手話の普及）	その他（***）		
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他（***）		
	情報提供	医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ 情報提供	セミナー開催
専門人材育成		保護者交流支援	その他（***）		
育成対象	言語聴覚士	教員	その他教員	その他（***）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	小児科医（医会含む）	その他（***）		
	言語聴覚士	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター（療育センター）言語聴覚士協会
教員	特別支援学校教員	大学教員	高校教員		
当事者関係	難聴当事者（当事者会）	難聴者家族（家族会）PTA	当事者団体等		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	保健課	特別支援教育課	健康政策課	生涯政策（対策）課
	子ども家庭課				
	家庭支援課				
その他職員	保健師等（***）	保健師等（***）	その他大学教員（***）	その他大学教員（***）	その他（***）
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教員（**）	その他（***）	

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	症例検討	聴覚障害者把握調査	難聴者支援事業計画策定	構成員活動報告	医療機関検査整備状況確認
先天性CMV結果確認	難聴者支援資料作成	難聴者支援協議会	その他（***）		

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり	
中核機関の設立に関与	提唱者
中核機関として活動	指導者 活動分担
中核機関への助言	定期的な助言
協議会への参加	毎回

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	調査把握している		
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考
福岡県では県が主導するのではなく、特別支援学校が中心となり関連協議会を設置しています。

基本事項

自治体名	佐賀県	設立時期	
中核機関名		コーディネーター所属	
		コーディネーター職種	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	
		キーパーソン職種	
事業の予算	県と国からの予算を活用	県の予算のみを活用	独自予算を活用
協議会の有無	有	無	
協議会開催回数	年1回	年2回	年3~4回 年5回以上
協議会事務局			

中核機関形態

中核機関の分類	集中型	分散型			
中核機関の所属	大学病院	地域病院	クリニック	県立支援学校	児童発達支援センター
	その他（****）				
中核機能構成	名		うち常勤		名
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	医職員	その他（*****）

機能紹介

	中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次精密機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（****）			
当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他（****）		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関への付き添い	新スクフォロー	補聴器処方
		その他（*****）			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他（****）		
		医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ情報提供	セミナー開催
	情報提供	保護者交流支援	その他（****）		
専門人材育成	研修会の企画	教材作成	資格取得支援	その他（****）	
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教師	児童発達支援センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員

医師		精密検査機関	二次精密機関	クリニック	児童発達センター
	耳鼻科関連	総合病院	大学病院（精密のぞく）		地方部会
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	臨床遺伝科医	その他医師会
言語聴覚士	精密医療機関	二次精密機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
	非医療入会（*****支部）				
教員	特別支援学校教員	通市級教員	文芸級教員		
当事者関係	難聴当事者（当事者会）	難聴者家族（家族会）	当事者支援会		
自治体職員	障害福祉課	保健課	教育振興課	健康福祉課	
		幼保課	特別支援教育室	健康政策課	
	こども家庭課	その他（****）		健康長寿課	疾病政策（対策）課
その他職員	教育委員会	保健福祉事務所（保健師）	その他（療育支援センター）		
	児童発達センター	保健センター	その他協会（****）	その他センター（**）	その他（*****）
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教授（**）	その他（****）	

協議会での主な協議内容

	中核機能主催の協議会	その他の協議会	
新スク結果確認	症例検討	難聴者有把握調査	難聴者支援事業計画策定
先天性CMV結果確認	難聴者支援資料作成	補聴器補助事業協議	その他（公費負担、精密検査結果と療育の紹介先、療育支援、意見交換）

継続性

コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり

中核機関の設立に関与	提唱者	協力者	途中から参加
中核機関として活動	指導者	活動分担	
中核機関への助言	定期的な助言	求められたら	
協議会への参加	毎回	8割	5割 5割未満

先天性CMV検査状況について

実施状況把握	調査把握している	把握していない	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考

当県では「聴覚障害児支援中核機能強化事業」は実施していないため、全て他事業で実施している内容について回答しています。

基本事項				
自治体名	長崎県	設立時期	2003年	
中核機関名	県障害福祉課/こども家庭課	コーディネーター所属	神田ENT医院/長崎大学	
		コーディネーター職種	日耳鼻地方部会乳幼児医療委員長	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	神田ENT医院/長崎大学	
		キーパーソン職種	耳鼻咽喉科医師	
事業の予算	県と国からの予算を活用	予算額(百万円)	1,000万円未満	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局				

中核機関形態					
中核機関の分類	基中型	分散型			
中核機関の所属	大学病院	地域病院	クリニック	県立支援学校	児童発達センター
中核機能構成	その他(****)				
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	県職員	その他(****)

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能	
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次精査機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校			
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所(保健師)	行政機関		
	その他機関	その他(****)			

当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他(****)		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関への付き添い	新スクフォロー	補聴器処方
		その他(****)			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他(****)		
	情報提供	医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ情報提供	セミナー開催
		保護者交流支援	その他(****)		
専門人材育成	研修会の企画	教材作成			
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教師	児童発達センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他(****)	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	二次精査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	総合病院	産科医(医会含む)	臨床遺伝科医	地方部会
言語聴覚士	精密医療機関	二次精査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
教員	特別支援学校教員	通常級教員	支援級教員		
当事者関係	難聴当事者(当事者会)	難聴者家族(家族会)	当事者支援会		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	小保課	特別支援教育課	健康政策課	民間政策(対策)課
	子ども家庭課				
	家庭支援課	その他(****)			
その他職員		保健所(保健師)	その他大学教員(****)	その他(長崎大学医院長)	その他(****)
その他専門職	児童発達センター	保健センター	その他大学教授(****)	その他(長崎大学医院長)	その他(****)
	心理士	保育士			

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	症例検討	聴覚障害者把握調査	難聴者支援事業計画策定	構成員活動報告	医療機関検査整備状況確認
先天性CMV結果確認	難聴者支援資料作成	補聴器補助事業協議	その他(****)		

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり		
中核機関の設立に関与	提唱者	協力者
中核機関として活動	指導者	活動分担
中核機関への助言	定期的な助言	求められたら
協議会への参加	毎回	

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	調査把握している	実施していない	
整備状況	対策を実施中	1版を検討中	検討していない

備考	

基本事項

自治体名	大分県	設立時期	
中核機関名	未実施	コーディネーター所属	
		コーディネーター職種	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	
		キーパーソン職種	
事業の予算	県と国からの予算を活用	県の予算のみを活用	独自予算を活用
協議会の有無	有	無	
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回
協議会事務局	大分県福祉保健部 こども未来課		

中核機関形態

中核機関の分類	集中型	分散型			
中核機関の所属	大学病院	地味病院	グリーンアップ	県立文徳予校	児童発達支援センター
	その他(*****)				
中核機能構成		名	うち常勤		名
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	保健員	その他(*****)

機能紹介

機関連携	医療機関	精密検査機関	二次精査機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（言語聴覚士協会）			
当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他（精密結果陽性になった児のフォロー（電話連絡や健診時の））		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関への付き添い	新スクフォロー	補聴器処方
		その他（****）			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他（****）		
	情報提供	医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ情報提供	セミナー開催
		保護者交流支援	その他（****）		
専門人材育成	研修会の企画	教材作成	資格取得支援	その他（****）	
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教員	児童発達支援センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員

医師		精密検査機関	二次精査機関	クリニック	児童発達センター
	耳鼻科関連	総合病院	大学病院（精密のぞく）		地方部会
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	臨床遺伝科医	その他医師会
言語聴覚士	指定医療機関	二次精査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
	非医療大学（****学部）				
教員	特別支援学校教員	通常級教員	支援級教員		
当事者関係	難聴当事者（当時者会）	難聴有家族（家族会）	当事者支援会		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	幼保課	特別支援教育課	健康政策課	
	子ども家庭課			健康長寿課	疾病政策（対策）課
	家庭支援課	その他（****）			
自治体職員	教育委員会	保健所（保健師）	その他（自治体：市町村の保健師）		
その他職員	児童発達センター	保健センター	その他協会（****）	その他センター（**）	その他（****）
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教授（**）	その他（****）	

協議会での主な協議内容

新スク結果確認	症例検討	聴覚障害者把握調査	難聴者支援事業計画策定	構成員活動報告	医療機関検査整備状況確認
先天性CMV結果確認	難聴者支援資料作成	補聴器補助事業協議	その他(*****)		

継続性

コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり

中核機関の設立に関与	提唱者	協力者	志中から参加
中核機関として活動	指導者	活動分担	
中核機関への助言	定期的な助言	求められたり	
協議会への参加	毎回	8割	5割 5割未満

先天性CMV検査状況について

実施状況把握	調査把握している	把握していない	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考

モデル事業としてではないが、新生児聴覚検査の体制整備事業として一部行っている。

基本事項			
自治体名	宮崎県	設立時期	令和9年度開始予定
中核機関名	未定	コーディネーター所属	未定
		コーディネーター職種	未定
		乳幼児難聴キーパーソン所属	未定
		キーパーソン職種	未定
事業の予算	県と国からの予算を活用	県予算のみを活用	国予算を活用
協議会の有無	有		
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回
協議会事務局	未定		

中核機関形態				
中核機関の分類	集中型	分散型		
中核機関の所属	その他（****）	協賛機関	協賛機関	協賛機関
中核機能構成		名	うち常勤	名
中核機能職種	医師	聴覚検査士	聴覚検査士	聴覚検査士

機能紹介	中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	1医療機関	2次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	1療育機関	療育機関		
	教育機関	1教育機関	1教育機関	1教育機関	1教育機関
		1校	1大学		
	行政機関	1県庁（県庁第1部）	1保健所		
	その他機関	1その他（****）			
当事者支援方法	直接訪問指導	1県庁第1部	1保健所	1保健所	1保健所
	電話相談	1県庁第1部	その他（****）		
	療育・医療関連	1保健所	1保健所	1保健所	1保健所
		その他（****）			
	相談事業	1保健所	1保健所	1保健所	1保健所
		1保健所	1保健所（****）	1保健所	1保健所
支援内容	情報提供	1県・市町村機関紹介	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産
		1患者交流支援	その他（****）		
専門人材育成	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産
育成対象	1保育士	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	1医療機関	2次検査機関	クリニック	1医療機関
	その他	1医療機関	1医療機関	1医療機関	1医療機関
言語聴覚士	1医療機関	2次検査機関	クリニック	1医療機関	1医療機関
	1医療機関				
教員	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産		
当事者関係	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産		
自治体職員	障害課	1保健所	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	1保健所	特別支援教育課	健康政策課	1保健所
	子ども家庭課			健康長寿課	1保健所
	家庭支援課	その他（****）			
その他職員	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産
その他専門職	心理士	1保育士	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	症例検討	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産
先天性CMV検査結果確認	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	1保健所	1保健所	1保健所
キーパーソンの後継者	あり	1保健所	1保健所	1保健所

耳鼻咽喉科医師のかかわり	
中核機関の設立に関与	1保健所
中核機関として活動	1保健所
中核機関への助言	1保健所
協議会への参加	1保健所

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産
整備状況	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産	1保健所科医科助産

備考
宮崎県では、令和9年度開始を目指し準備中です。県障がい福祉課が主導する形で、県健康増進課、県教育委員会特別支援教育課、聴覚支援学校2校、宮崎大学医学部附属病院難聴支援

基本事項				
自治体名	熊本県	設立時期		
中核機関名	福祉総合相談所、市町村、医療機関、ひばり園、うさぎルーム	コーディネーター所属		
		コーディネーター職種		
		乳幼児聴覚キーパーソン所属		
		キーパーソン職種		
事業の予算	県と国からの予算を併用している	県の予算のみを活用	国の予算を活用	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回			
協議会事務局	子ども未来課、障がい者支援課			

中核機関形態				
中核機関の分類	分散型	分散型		
	大学病院	地域病院	クリニック	児童発達センター
中核機関の所属	大学病院 その他（市町村、うさぎルーム（県立高等学校内））			
中核機能構成		名	うち常勤	名
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	県職員 その他（市町村職員）

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能	周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	医療機関機能	特別支援学校	児童発達センター	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	特別支援学校	児童発達センター		
		特別支援学校	児童発達センター		
	行政機関	行政機関（市町村）	行政機関		
	その他機関	その他（うさぎルーム（県立高等学校内））			
当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他（****）		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関	新スクワロー	聴覚検査
		その他（****）			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	聴覚器相談
		就学相談	その他（****）		
		医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ	セミナー開催
専門人材育成	情報提供	保護者交流支援	その他（****）	情報提供	
育成対象	言語聴覚士	聴覚師	言語聴覚士	児童発達センター職員	
	保育士	特別職員	その他職員	その他（****）	

協議会構成員					
医師	精密検査機関	精密検査機関	大学病院（精密のぞく）	児童発達センター	
	耳鼻科関連	総合病院		小児科	
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	その他（****）	
言語聴覚士	特別支援学校教員	特別支援学校教員	児童発達センター	児童発達センター	
教員	特別支援学校教員	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	
当事者関係	難聴者家族（家族会）	難聴者家族（家族会）			
自治体職員	障害課	障害課	教育課	児童発達センター	児童発達センター
	障害支援課	障害支援課	特別支援教育課	児童発達センター	児童発達センター
	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター
その他職員	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター
その他専門職	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
先天性CMV検査確認	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター
先天性CMV結果確認	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター	児童発達センター

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	あり	なし	
キーパーソンの後継者	あり	あり	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり				
中核機関の設立に関与	関係あり	関係あり	関係あり	
中核機関として活動	関係あり	関係あり	関係あり	
中核機関への助言	定期的な助言	定期的な助言	定期的な助言	
協議会への参加	関係あり	関係あり	関係あり	

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	調査把握している	調査していない	
整備状況	対策を実施中	対策を実施中	

備考	

基本事項

自治体名	熊本市	設立時期	
中核機関名	該当なし	コーディネーター所属	
		コーディネーター職種	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	
		キーパーソン職種	
事業の予算	国・国からの予算を活用	の予算のみを活用	独自予算を活用
協議会有の有無	有		
協議会開催回数	年1回	年2回	年3回以上
協議会事務局			

中核機関形態

中核機関の分類	行政機関	国庫機関			
中核機関の所屬	行政機関	国庫機関	地方自治体	独立行政機関	公益財団法人等その他
	その他（****）				
中核機能構成	名		うち常勤	名	
中核機能職種	医師	看護師・士	技師	薬剤師	その他（****）

機能紹介

機関連携	医療機関	精神検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	障がい児支援機関	発達障害支援センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健センター）	市役所		
	その他機関	その他（****）			
当事者支援方法	面談訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
		来所相談	来所相談（来所予約）		
	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関への付き添い	新スタッフフォロー	連絡調整方法
		その他（****）			
	相談事業	新スク相談	療育相談	言語発達相談	連絡調整相談
		個別相談	個別相談（来所予約）		
			医療・療育機関紹介	巡回員対応体成配布	ホームページ
支援内容	情報提供	相談者対応支援	巡回員（****）	情報提供	セミナー開催
専門人材育成	研修参加促進	来所研修	巡回研修支援	その他（****）	
育成対象	研修生	研修員		巡回員研修支援	研修支援センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員

	耳鼻科関連	耳鼻科関係者	歯科関係者	歯科関係者	歯科関係者
医師	その他	小児科医（医科専門）	小児科医（歯科専門）	小児科医（歯科専門）	小児科医（歯科専門）
言語聴覚士		言語聴覚士	言語聴覚士	言語聴覚士	言語聴覚士
		聴覚障害児支援士	聴覚障害児支援士	聴覚障害児支援士	聴覚障害児支援士
教員	特別支援学校教員	通常級教員	支援級教員		
当事者関係	保護者（児童・生徒の親）	保護者（児童・生徒の親）	保護者（児童・生徒の親）		
	評議員	保護課	教育課	健康福祉課	
	課長支援課	物産課	特別支援教育課	健康政策課	生活政策（対策）課
	子ども家庭課			健康長寿課	
	相談支援課	その他（****）			
自治体職員	児童福祉課	児童福祉課	児童福祉課	児童福祉課	
その他職員	児童福祉課	児童福祉課	児童福祉課	児童福祉課	
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教員（**）	その他大学教員（**）	

協議会での主な協議内容

① スケジュール確認	② 関係検討	③ 児童被害者把握調査	④ 関係者支援事業計画策定	⑤ 関係員活動報告	⑥ 関係機関相互連携状況確認
⑦ 天性CMV結果確認	⑧ 聴覚支援資料作成	⑨ 聴覚補助事業協議	その他（****）		

継続性

コーディネーターの後継者	あり	育成中	し	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	し	

耳鼻咽喉科医師のかかわり

中核機関の設立に関与	10割未満	3割未満	3割未満	3割未満
中核機関として活動	指導者	活動参加		
中核機関への助言	指導者	活動参加		
協議会への参加	毎回	3割	5割	5割未満

先天性CMV検査状況について

実施状況把握	調査把握している	把握していない	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考

基本事項

自治体名	鹿児島県	設立時期	
中核機関名	なし	コーディネーター所属	
		コーディネーター職種	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	
		キーパーソン職種	
事業の予算	県と国からの予算を活用	県の予算のみを活用	独自予算を活用
協議会の有無	有	無	
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回 年5回以上
協議会事務局			

中核機関形態

中核機関の分類	集中型	分散型			
中核機関の所属	大学病院	地域病院	クリニック	県立支援学校	児童発達支援センター
	その他（****）				
中核機能構成	なし	名	うち常勤		名
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	医職員	その他（****）

機能紹介

	中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次精密機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（****）			
当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他（****）		
支援内容	療育・医療関連		療育・医療機関		
		療育実践	への付き添い	新スクフォロー	補聴器処方
		その他（ハートピアかごしま鹿児島県障害者自立交流センター）			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他（****）		
		医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ	セミナー開催
専門人材育成	研修会の企画	教材作成	資格取得支援	その他（****）	
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教師	児童発達支援センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員

医師		精密検査機関	二次精密機関	クリニック	児童発達センター
	耳鼻科関連	総合病院	大学病院（精密のぞく）		地方部会
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	臨床遺伝科医	その他医師会
言語聴覚士	精密医療機関	二次精密機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
	非医療入会（*****支部）				
教員	特別支援学校教員	通市級教員	文芸級教員		
当事者関係	難聴当事者（当事者会）	難聴者家族（家族会）	当事者支援会		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	疾病政策（対策）課
	障害支援課	幼保課	特別支援教育課	健康長寿課	
	子ども家庭課	その他（****）			
	家庭支援課	その他（****）			
その他職員	教育委員会	保健所（保健師）	その他（****）		
その他職員	児童発達センター	保健センター	その他協会（****）	その他センター（**）	その他（****）
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教授（**）	その他（****）	

協議会での主な協議内容

	中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	症例検討	聴覚障害者把握調査	難聴者支援事業計画策定	協議会活動報告
先天性CMV結果確認	難聴者支援資料作成	補聴器補助事業協議	その他（****）	

継続性

コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり

中核機関の設立に関与	提唱者	協力者	途中から参加	
中核機関として活動	指導者	活動分担		
中核機関への助言	定期的な助言	求められたら		
協議会への参加	毎回	3割	5割	5割未満

先天性CMV検査状況について

実施状況把握	調査把握している	把握していない	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考

基本事項				
自治体名	沖縄県	設立時期	令和5年	
中核機関名	琉球大学病院 耳鼻咽喉科 きこえの未来センター	コーディネーター所属	琉球大学病院	
		コーディネーター職種	言語聴覚士	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	琉球大学病院	
		キーパーソン職種	耳鼻咽喉科医	
事業の予算	県と国からの予算を活用	国の予算を活用	国の予算を活用	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局	沖縄県障害福祉課			

中核機関形態				
中核機関の分類	集中型	分散型		
中核機関の所属	大学病院	大学病院	大学病院	大学病院
中核機能構成	その他（****）			
中核機能職種	医師	6名	うち常勤	4名

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能	周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）			
	その他機関	その他（発達支援事業所）			

当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援		
	電話相談	メール相談	その他（****）		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関への付き添い	新スクフォロー	補聴器処方
		その他（****）			
	相談事業	就学相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		その他（教育相談）			
専門人材育成	研修会の企画	医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	研修会開催	セミナー開催
	情報提供	保護者交流支援	その他（****）		
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教師	児童発達支援センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他（発達支援事業所職員）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	小児科医（医会含む）	小児科医（医会含む）
	言語聴覚士	精密医療機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
教員	特別支援学校教員	特別支援学校教員	特別支援学校教員		
当事者関係	聴覚障害者（聴覚障害者）	難聴者家族（家族会）	難聴者家族（家族会）		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	幼保課	特別支援教育課	健康政策課	健康政策課（対策）課
	子ども家庭課	その他（****）			
	家庭支援課	その他（****）			
その他職員	教育委員会	保健所（保健師）	保健所（保健師）		
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教員（**）	その他（****）	その他（発達支援事業所職員）

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	説明資料	聴覚障害者把握調査	難聴者支援事業計画策定	国試員活動報告	医療機関検査整備状況確認
新スク結果確認	説明資料	聴覚障害者把握調査	難聴者支援事業計画策定	国試員活動報告	医療機関検査整備状況確認

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり		
中核機関の設立に関与	協賛者	協力者
中核機関として活動	指導者	活動分担
中核機関への助言	定期的な助言	定期的な助言
協議会への参加	毎回	定期的な助言

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	把握していない	把握していない	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考	
構成は言語聴覚士6名としています。耳鼻咽喉科に所属する言語聴覚士の人数となります。 本事業は1名がメインとなって活動し、必要な時（研修会等）に他のスタッフもサポートに入ってもらっています。	